

会報

No. 53

平成13(2001)年1月15日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL(075)762-4655

京都学の場として

京都府立総合資料館長 大 楠 明 司



新しいインクの華やいだ匂いと鮮やかな色に包まれた街の本屋さんとは違い、古い本が隙間なく詰まつたこの書庫に入ると、いつも古い紙と埃の匂いが静かに溜まっていた。新品と変わらぬ美しい装丁のままの本も稀に並んでいるが、多くは背表紙の上部が指の形に凹んでいる。

いま、資料館二四七〇m²の書庫に並べられた書架の半分は空になり、ひんやりとした風が通り抜けていく。

昭和三八年開館以来、資料は増加の一途を辿り、一般書・学術書・新聞・雑誌・和書・洋書・(国宝)東寺百合文書を含めた古文書・行政文書など合わせて約七七万冊。

書庫は、書架の配置を極限まで工夫して並べるも収容限界となり、事務室や展示室や会議室なども書庫に転用するなどして収容してきたが、新装なった府立図書館(左京区)が

やかな色に包まれた街の本屋さんとは違う。収集資料が増加するに伴い、博物館機能の充実が求められ、美術工芸・歴史民俗資料などの保存展示機能は、昭和六三年京都文化博物館(中京区)へ移管された。

また今回、約半数の図書移転を期に、再び転機を迎えるとしているわけである。

蔵書を充実し機能を拡充して、本年五月中旬開館することに伴い、当館から一般図書を中心に約三七万冊の図書を府立図書館に移すことになり、書庫の風景は大きく変わってしまった。しかし、間もなく、書庫に転用された事務室や会議室から、古文書や行政文書などが移され、元のとおり古い紙と埃の匂いなどが入り交じた重い空気が静かに溜まつた書庫に戻る。

当館は、京都に関する歴史・文化・産業・生活等の諸資料を総合的に収集し整理し保存し、閲覧・展示することによって府民の調査研究に役立てることを目的に、図書館と博物館と文書館の三つの機能を併せ持った施設として設置され、以来、多くの方々のご協力、ご支援を受けながら

今日まで貴重な資料を収集し、それらを府民の方々に提供してきたところである。収集資料が増加するに伴

て、これらの資料群も出来るだけ速く府民の方々にご覧いただけるよう

がら共同研究を行い、解説・整理して、これらを資料群も出来るだけ速く府民の方々にご覧いただけるよう

なことも検討していきたいと考えています。

教科書では知ることの出来ない京都の歴史や文化の新発見の楽しみを多くの府民の方々に体験していただけるよう、職員一同更に所蔵資料に精通し、期待に応えられるよう努力していきたいと決意を新たにしてい

るところである。再開館まで暫くご迷惑をお掛けすることになりますがよろしくお願い致します。

新しい資料館は、京都に関する図書・雑誌類、日本の歴史と伝統文化・美術工芸関係の図書類、白書などの官庁資料、古文書などの収集・提供のほか、京都府誕生以来の行政文書の保存・提供を行っていこうとするもので、今まで以上に『京都』を前面に打ち出した施設となる予定である。また、パソコンによる図書資料検索システムを導入し、府立図書館や府内市町村立図書館との情報ネットワーク化も図り、利用者の利便性を向上させることにしている。

平成十二年九月二十一日(木)午後一時三十分から二十二日(金)午前十二時まで、舞鶴西総合会館をメイソ会場に宿泊研修会を実施しました。北部の舞鶴市での宿泊研修でしたが延べ三十五名の参加がありました。

二十一日は開会にあたり、村上京岡連協会長の挨拶があり、つづいて「私の出会い」を題して福知山淑徳高等学校講師の仲野恵子氏に講演をしていただきました。さらに会場から近い舞鶴市立西図書館の施設見学を行ったあと、宿泊の舞鶴簡易保険センターへ移動、夕刻から交流会には、舞鶴市立西・東図書館の両館長も出席され盛り上がりました。さらに自由交流でも講師の仲野先生を交え夜遅くまで話がつきました。

また、二十二日は前日に引き続き仲野先生を講師に「絵本から広がる手作りおもちゃ」の実技指導がありました。蛙や蛇を題材にした作品に時間がすぐにたちました。ご自分でも「みかんの木文庫」を主宰されており、当日は自作の「手作りおもちゃ」を多く持参していました。

講師個人の立場を通して、いろいろ教えられる充実した研修会となりました。



平成12年度宿泊研修(北部会場)開催



宿泊研修会に参加して

岩瀬町中央公民館図書室

瀬戸 真由美

研修講演録

「私の出会い」

図書館と子どもたち

去る九月二十一日から二十二日に

舞鶴西総合会館で実施された宿泊研修会に参加しました。

今年は子ども読書年にちなんで、講師の仲野恵子さんがご自分の文庫活動の取組みを通じて子どもと本に対する思いをお話していただきました。子どもが本と親しむ場をつぎつぎと作り出してこられたバイタリティーに感銘をうけました。

また、夕食後九時すぎまでいろいろな手作りおもちゃを実演を交えながら教えていただきましたが、「お金はかけず、できるだけ手間が省けるように」というアイディアに感心するとともに、子どもの頃に戻った気分でワクワクしながら先生のお話を聞いていました。

翌日の実習では、実際に手作りおもちゃを作りましたが、受講者は自分がさらなる工夫でオリジナリティ溢れるものを作つておられたのが印象的でした。

今回の研修会に参加して、子どもと本との出会いを提供する図書館のあり方を考える良い機会になつたと 思います。

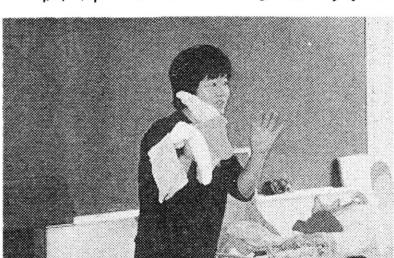
私は一九七九年から長岡市に住むことになり、図書館の「子どもの本を読む会」に参加するようになつた。若いお母さんが多く、活動のために託児室が必要で、さらにそれが共同保育へつながつていったが、その場に図書館がベースにあつたことは会にとつて大きな出発点となつた。何か

を表現したいという気持ちはそれを人形劇サークルへと発展させた。生活の中に本が入ってきた私は、その頃、会におられた方の文庫の活動で、本の豊かさを伝えてもらつた気がする。

一九八七年に福知山市に移つたが、子ども文庫がなかつたので自分で文庫を作ることにした。最初は府立図書館から借りた六〇〇冊と持ち本二五〇冊でスタートし、人形劇や読み聞かせ、お話し劇場などを行つていった。そのうち、子どもたち自身が人形劇をやつたり、資金集めのためにバザーを実施した。また、鬼の面をかぶつて家庭を回る節分行事を子ども会と共同で行つたりもした。私が

市内に転居した時、以前の文庫の本を集会所で預つてもらうことで、当初、異論が出たが、文庫の活動を見える形でやつてきたことで理解が得られ、結局は本を置けるようになった。新しい文庫に移つた私は、幼稚園で読書会を続けたことなどで図書館に認めてもらい、部屋の使用などを支援をしてもらつてている。本を広めるための活動を図書館で確保してもらつてることが若いお母さんを育て、それがやがて図書館の援軍となつていくものと思う。

図書館に望むこととして、まず文庫活動を応援してほしいこと、それからいろいろな分野にくわしい司書が情報交換をして、それを財産として市民が生かせるようになります。ネットワーク化を図つてほしい、と思う。また、図書館を応援する元気な市民を育てて、そういう市民と共に図書館を作る方法をいつしょに考えていただきたい。そのためには、図書館がレンタルやさまざまな要求を利用者から引き出す努力をし、カウンターで話しやすい雰囲気づくりに努めてほしい。そして、そうすることで私たちは豊かな図書館づくりのお手伝いが少しでもできることを、本当に願つていています。



平成十二年十一月二日(木)午後
一時三十分から四時まで京都ライト
ハウス点字図書館において実務研修
会を実施しました。

台風の影響で激しい雨のなか、二
十七名の参加者がありました。

最初に「京都ライトハウス点字
図書館における視覚障害者サービ
ス」と題する講演が、同図書館の
沖田友子氏からありました。

実際の点字図書・テープ図書・
デイジーフォト(プレクストーク)と
いう特別の機器で聞くCD図書
を示し、多様なサービスとそれを
支えるボランティア・図書館管理
システム等について話されました。

デイジーフォトについては、実際に
操作もしていただきました。

また、点字図書館の田尻館長か
らライトハウス改築(平成十六年
完成予定)に向けての話もありま
した。

最後に施設見学です。二班に分
けて、点字図書館だけでなくライ
トハウス全体を丁寧に案内してい
ただきました。
質疑応答も活発で、参加者の方が
意欲的に話を聞かれていたのが感じ
取れる研修会となりました。

実務研修に参加して

京都市醸造中央図書館

高井かづみ

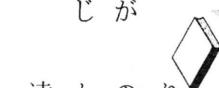
「障害者サービス」をテーマに京
都ライトハウスで行われた研修に参
加しました。

点字図書館の活動についてサ
ビス係の沖田さんからお話を伺い、
個々の利用者に適した形態(点字
や録音、利用が増えているフロッ
ピーやデイジー)の選択など、き
め細かく対応されていることを知
りました。

情報のデジタル化が進み、公共
図書館でも資料形態が多様化する
中、視覚などに障害をもつ方の資
料へのアクセスを容易にし、図書
館の利用を身近なものとするには、
私達職員のサポートが重要である
ことを今回強く感じました。

当日は激しい雨もあり、築六十
年の建物には厳しい天候でしたが、
ライトハウスでは平成十六年に現
在の場所での改築が決定されてお
どり、情報提供をはじめ相談業務など
の支援事業等も一層充実される計画
とお聞きしました。実現に向けて私
達も応援していきたいと思います。

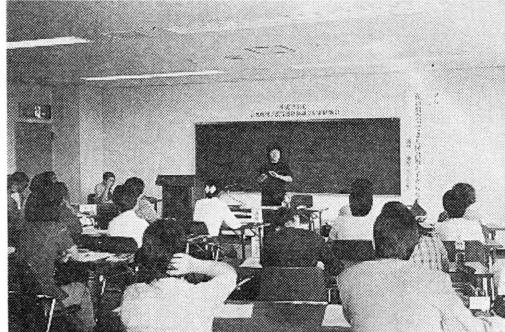
平成12年度実務研修会(中部会場)開催



最後に施設見学です。二班に分
けて、点字図書館だけでなくライ
トハウス全体を丁寧に案内してい
ただきました。
質疑応答も活発で、参加者の方が
意欲的に話を聞かれていたのが感じ
取れる研修会となりました。



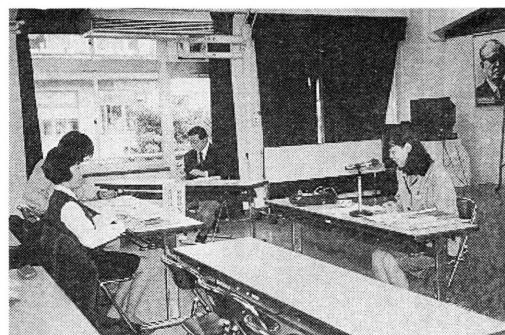
第9回京都図書館大会(2000.9.13)



宿泊研修・北部会場(2000.9.21~22)



第86回全国図書館大会(2000.10.25~27)



実務研修会・中部会場(2000.11.2)

京都図書館大会

第九回京都図書館大会が、平成十

二年九月十三日(水)、同志社大学
今出川キャンパスで「21世紀の図書
館像を探る」をテーマに開催され、
公共・大学・学校図書館関係者百五
名の参加がありました。

主催者として、村上康夫実行委員
長(京図連協会会長)・酒川玲子日本
図書館協会事務局長の挨拶の後、小・
中・大学からの報告がありました。

はじめに京都市立新町小学校の藤
沢昭子教諭から「子どもの読書と学
校図書館の現状と課題」―小学校図
書館から―、次に京都市立西賀茂
中学校の進士正憲教諭から「子ども
の読書と学校図書館の現状と課題
―中学校図書館から―」、さらに、
立命館大学の若井勉氏からは「大学
生の図書館利用」をテーマに豊富な
実践活動を報告していただきました。
日図協の酒川事務局長からは、「図書
館の現状と課題」のテーマで
特別報告がありました。

交流協議の後、小山雄一京都府立
図書館長が「京都府立図書館からの
報告」で平成十三年五月開館(予定)
の新府立図書館の説明をされました。
最後に実行委員の大城善盛同志社
大学教授から大会のまとめがあり、
閉会となりました。

Book

第九回京都図書館大会に参加して
木津町中央図書館 中谷 昌子

図書館法制定五十周年という節目
の年にあたり、図書館では、公共・
大学・学校という館種をこえた連携
がより大切になってきています。

今回、立命館大学より『大学生の
図書館利用』と題して報告がありま
したのでその内容を紹介します。

今、大学は変化の時代を迎えてい
ます。よりハイレベルな教育をうけ、
社会で即戦力となる学生を求める時
代となり、大学側は、この学部では、
どんな学問をして、どんな力がつき、
どのような就職ができるかという受
験生やその親からの問い合わせに答
えなければならないことが多くなっ
たそうです。

このような大学を取りまく環境の
変化の中で、大学図書館は、情報リ
テラシー教育のあり方を検討すると
ともに、利用時間の延長をはかり、
土・日曜も学生のみならず地域に開
放するところが増加しています。

若井先生の報告の結びにもありま
したが、S.R.ランガナタンがいっつ
よう、大学図書館も公共図書館も、
の垣根をとり除かれて発展
していくものであり、本当の意味での
独自性を図り、誰のための図書館か
をおさえていく必要があるのではないか
といふことを痛切に感じました。

全国図書館大会

平成十二年度(第86回)全国図書

館大会は、十月二十五日から二十七
日までの三日間、約千六百名の参加
者を得て、沖縄県那覇市において、
開催された。

◎開会式・全体会

開会式は、十月二十五日(水)午
後一時から、沖縄県立武道館におい
て行われた。

つづいての全体会において、栗原
均日本図書館協会理事長から、この
百年間を振りかえり、二十一世紀の
図書館のあり方等の目標設定と方法
と戦術・戦略を考えいくことが必
要との基調報告があった。その後、
高良倉吉琉球大学教授から、失われ
た首里城の復元に込めた思いについ
ての記念講演があった。

◎分科会・関連展示会

二日目から、「公共図書館21世紀
への課題」など十四分科会が、十二
会場に別れて、研究協議が行われた。
また、関連行事として「図書展示会」
「OA機器展示会」などが開催され
ていた。

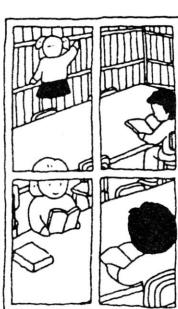
◎全体会・閉会式

三苦正勝日本図書館協会常務理事
と新垣敏光那覇市立中央図書館長を
議長として全体会がもたれた。各分
科会の報告がなされ、全体討議が活
発に行われた後、閉会式となつた。

Book

全国図書館大会に参加して
京都市伏見中央図書館 山崎 健藏

私が参加した第一分科会において
は、地方分権、厳しい地方財政事情
とIT革命に関わる公共図書館の現
状と課題についての報告・講演等が
あつた。各報告者間では、利用者の
求めに真摯に耳を傾け、職員が変わ
ろうとする意識を持ち、自己の判断
と責任により図書館運営にあたること
とが必要であること、今後印刷媒体
と電子メディアがシームレスに使わ
れる図書館になっていく中にあって
は、両方に精通した職員が必要であ
り、また、それができない利用者へ
の援助が図書館の重要な業務になる
だろうことについて共通認識されて
いたと思う。今回の全国図書館大会
は「万国津梁の邦沖縄から21世紀へ
飛翔」というテーマにふさわしく、
図書館界を取り巻く環境と今後につ
いて論議された意義深い大会であつ
たと思う。



新 加 盟

館 紹 介

夜久野町教育文化会館図書室

JR下夜久野駅から徒歩約三分の所にある教育文化会館の一室に、念願の図書室が開室しました。

蔵書数は、府立図書館からの借り受けを含め現在約九千冊ですが、今後少しづつ増やしていきます。

さて、図書館活動ですが、毎月新刊を広報「やくの」でお知らせし、その中からお薦めの一冊を簡単なコメントと一緒に紹介しています。

十一月には子ども読書年にちなみ、記念イベントとしてリサイクルのための図書の交換会や人形劇サークルを招いての公演等を行いました。また、十月からは、ある身体障害者の方からの図書貸出の要請を受け、社会福祉協議会とタイアップして貸出業務を行うことになりました。

まだよちよち歩きの図書館ですが、ぜひ来年度には総合目録データベースのBタイプに参加して、図書の管理がスムーズにできるようになればと願っています。



南山城村教育委員会図書室

京都府下でただ一つの村の図書室です。平成四年三月に開室しています。

役場の集会会議室だった所を、図書室に利用しています。

南山城村は地域が広範囲なため、

利用者にとっては課題もたくさんあります。そのため各小学校や地域の婦人会館や公民館に貸出をして、

年一回交換移動図書として活用されるよう工夫しています。

図書室の活動としては、小学生や幼児向けに「お話し・読み聞かせ会」や「映画会・手作り玩具の会」を、第四土曜日に実施しています。

その他、「図書室まつり」や「クリスマス会」をして図書室の啓発に努めています。

今回、京都府図書館等連絡協議会に加入させていただき、より多くの住民の方々の利用を期待しています。



大好評の夜間・祝日開館

「昨日の夜の貸出は何冊あつた?」から左京図書館の朝のミーティングが始まります。

平成十一年五月十四日

の移転開館とともに、コ

ンピュータ導入および

(※)「京・ライブラリーネット」とのオンライン

化が実現し、貸出冊数も大幅に増え、地域図書館

で最も利用の多い図書館

として地域の方々に親し

まれきました。

順調に貸出冊数が伸び

ていく中で、市民の熱い

「仕事帰りに立ち寄れるのがうれしい」という利用者からの声もあり、

今まで利用したくてもできなかつた

人たちが夜間開館を契機に図書館に足を運んでもらえるようになつたこ

とが、一番の喜びです。また、夕食

までのひとときをのんびり過ごすと

いう人もおられ、自分のスタイル、

生活のリズムに合わせて、図書館が

利用できることが好評のようです。

「生活のなかに図書館を」が左京

図書館のキャッチフレーズ。図書館

サービスが地域住民の生活の中へど

んどん浸透していくのを感じる今日

この頃です。

(※)「京・ライブラリーネット」は、京都市図書館情報ネットワークの愛称。現在十八館中、十五館が結ばれています。

要望であった地域図書館での夜間・祝日開館を左京図書館で実施することとなり、昨年五月十五日からスタートしました。

地域図書館はじめての試みということもあり、夜間の二時間半(午後五時～七時三十分)の利用状況が大いに気になる朝のミーティング。

夜間の利用は、平均で約三百五十冊の貸出があり、多いときは、五百冊を越える日もあり職員は大忙しの毎日です。

地域図書館は、これまでの夜間開館と同様に、午後五時～七時三十分の利用状況が大いに気になる朝のミーティング。

夜久野町教育文化会館図書室

JR下夜久野駅から徒歩約三分の所にある教育文化会館の一室に、念願の図書室が開室しました。

蔵書数は、府立図書館からの借り受けを含め現在約九千冊ですが、今後少しづつ増やしていきます。

さて、図書館活動ですが、毎月新刊を広報「やくの」でお知らせし、その中からお薦めの一冊を簡単なコメントと一緒に紹介しています。

十一月には子ども読書年にちなみ、記念イベントとしてリサイクルのための図書の交換会や人形劇サークルを招いての公演等を行いました。また、十月からは、ある身体障害者の方からの図書貸出の要請を受け、社会福祉協議会とタイアップして貸出業務を行うことになりました。

まだよちよち歩きの図書館ですが、ぜひ来年度には総合目録データベースのBタイプに参加して、図書の管理がスムーズにできるようになればと願っています。



南山城村教育委員会図書室

京都府下でただ一つの村の図書室です。平成四年三月に開室しています。

役場の集会会議室だった所を、図書室に利用しています。

南山城村は地域が広範囲なため、

利用者にとっては課題もたくさんあります。そのため各小学校や地域の婦人会館や公民館に貸出をして、

年一回交換移動図書として活用されるよう工夫しています。

図書室の活動としては、小学生や幼児向けに「お話し・読み聞かせ会」や「映画会・手作り玩具の会」を、第四土曜日に実施しています。

その他、「図書室まつり」や「クリスマス会」をして図書室の啓発に努めています。

今回、京都府図書館等連絡協議会に加入させていただき、より多くの住民の方々の利用を期待しています。



夜久野町教育文化会館図書室

JR下夜久野駅から徒歩約三分の所にある教育文化会館の一室に、念願の図書室が開室しました。

蔵書数は、府立図書館からの借り受けを含め現在約九千冊ですが、今後少しづつ増やしていきます。

さて、図書館活動ですが、毎月新刊を広報「やくの」でお知らせし、その中からお薦めの一冊を簡単なコメントと一緒に紹介しています。

十一月には子ども読書年にちなみ、記念イベントとしてリサイクルのための図書の交換会や人形劇サークルを招いての公演等を行いました。また、十月からは、ある身体障害者の方からの図書貸出の要請を受け、社会福祉協議会とタイアップして貸出業務を行うことになりました。

まだよちよち歩きの図書館ですが、ぜひ来年度には総合目録データベースのBタイプに参加して、図書の管理がスムーズにできるようになればと願っています。



南山城村教育委員会図書室

京都府下でただ一つの村の図書室です。平成四年三月に開室しています。

役場の集会会議室だった所を、図書室に利用しています。

南山城村は地域が広範囲なため、

利用者にとっては課題もたくさんあります。そのため各小学校や地域の婦人会館や公民館に貸出をして、

年一回交換移動図書として活用されるよう工夫しています。

図書室の活動としては、小学生や幼児向けに「お話し・読み聞かせ会」や「映画会・手作り玩具の会」を、第四土曜日に実施しています。

その他、「図書室まつり」や「クリスマス会」をして図書室の啓発に努めています。

今回、京都府図書館等連絡協議会に加入させていただき、より多くの住民の方々の利用を期待しています。



夜久野町教育文化会館図書室

JR下夜久野駅から徒歩約三分の所にある教育文化会館の一室に、念願の図書室が開室しました。

蔵書数は、府立図書館からの借り受けを含め現在約九千冊ですが、今後少しづつ増やしていきます。

さて、図書館活動ですが、毎月新刊を広報「やくの」でお知らせし、その中からお薦めの一冊を簡単なコメントと一緒に紹介しています。

十一月には子ども読書年にちなみ、記念イベントとしてリサイクルのための図書の交換会や人形劇サークルを招いての公演等を行いました。また、十月からは、ある身体障害者の方からの図書貸出の要請を受け、社会福祉協議会とタイアップして貸出業務を行うことになりました。

まだよちよち歩きの図書館ですが、ぜひ来年度には総合目録データベースのBタイプに参加して、図書の管理がスムーズにできるようになればと願っています。



南山城村教育委員会図書室

京都府下でただ一つの村の図書室です。平成四年三月に開室しています。

役場の集会会議室だった所を、図書室に利用しています。

南山城村は地域が広範囲なため、

利用者にとっては課題もたくさんあります。そのため各小学校や地域の婦人会館や公民館に貸出をして、

年一回交換移動図書として活用されるよう工夫しています。

図書室の活動としては、小学生や幼児向けに「お話し・読み聞かせ会」や「映画会・手作り玩具の会」を、第四土曜日に実施しています。

その他、「図書室まつり」や「クリスマス会」をして図書室の啓発に努めています。

今回、京都府図書館等連絡協議会に加入させていただき、より多くの住民の方々の利用を期待しています。



夜久野町教育文化会館図書室

JR下夜久野駅から徒歩約三分の所にある教育文化会館の一室に、念願の図書室が開室しました。

蔵書数は、府立図書館からの借り受けを含め現在約九千冊ですが、今後少しづつ増やしていきます。

さて、図書館活動ですが、毎月新刊を広報「やくの」でお知らせし、その中からお薦めの一冊を簡単なコメントと一緒に紹介しています。

十一月には子ども読書年にちなみ、記念イベントとしてリサイクルのための図書の交換会や人形劇サークルを招いての公演等を行いました。また、十月からは、ある身体障害者の方からの図書貸出の要請を受け、社会福祉協議会とタイアップして貸出業務を行うことになりました。

まだよちよち歩きの図書館ですが、ぜひ来年度には総合目録データベースのBタイプに参加して、図書の管理がスムーズにできるようになればと願っています。



南山城村教育委員会図書室

京都府下でただ一つの村の図書室です。平成四年三月に開室しています。

役場の集会会議室だった所を、図書室に利用しています。

南山城村は地域が広範囲なため、

利用者にとっては課題もたくさんあります。そのため各小学校や地域の婦人会館や公民館に貸出をして、

年一回交換移動図書として活用されるよう工夫しています。

図書室の活動としては、小学生や幼児向けに「お話し・読み聞かせ会」や「映画会・手作り玩具の会」を、第四土曜日に実施しています。

その他、「図書室まつり」や「クリスマス会」をして図書室の啓発に努めています。

今回、京都府図書館等連絡協議会に加入させていただき、より多くの住民の方々の利用を期待しています。



夜久野町教育文化会館図書室

JR下夜久野駅から徒歩約三分の所にある教育文化会館の一室に、念願の図書室が開室しました。

蔵書数は、府立図書館からの借り受けを含め現在約九千冊ですが、今後少しづつ増やしていきます。

さて、図書館活動ですが、毎月新刊を広報「やくの」でお知らせし、その中からお薦めの一冊を簡単なコメントと一緒に紹介しています。

十一月には子ども読書年にちなみ、記念イベントとしてリサイクルのための図書の交換会や人形劇サークルを招いての公演等を行いました。また、十月からは、ある身体障害者の方からの図書貸出の要請を受け、社会福祉協議会とタイアップして貸出業務を行うことになりました。

まだよちよち歩きの図書館ですが、ぜひ来年度には総合目録データベースのBタイプに参加して、図書の管理がスムーズにできるようになればと願っています。



南山城村教育委員会図書室

京都府下でただ一つの村の図書室です。平成四年三月に開室しています。

役場の集会会議室だった所を、図書室に利用しています。

南山城村は地域が広範囲なため、

利用者にとっては課題もたくさんあります。そのため各小学校や地域の婦人会館や公民館に貸出をして、

年一回交換移動図書として活用されるよう工夫しています。

図書室の活動としては、小学生や幼児向けに「お話し・読み聞かせ会」や「映画会・手作り玩具の会」を、第四土曜日に実施しています。

その他、「図書室まつり」や「クリスマス会」をして図書室の啓発に努めています。

今回、京都府図書館等連絡協議会に加入させていただき、より多くの住民の方々の利用を期待しています。



夜久野町教育文化会館図書室

JR下夜久野駅から徒歩約三分の所にある教育文化会館の一室に、念願の図書室が開室しました。

蔵書数は、府立図書館からの借り受けを含め現在約九千冊ですが、今後少しづつ増やしていきます。

さて、図書館活動ですが、毎月新刊を広報「やくの」でお知らせし、その中からお薦めの一冊を簡単なコメントと一緒に紹介しています。

十一月には子ども読書年にちなみ、記念イベントとしてリサイクルのための図書の交換会や人形劇サークルを招いての公演等を行いました。また、十月からは、ある身体障害者の方からの図書貸出の要請を受け、社会福祉協議会とタイアップして貸出業務を行うことになりました。

まだよちよち歩きの図書館ですが、ぜひ来年度には総合目録データベースのBタイプに参加して、図書の管理がスムーズにできるようになればと願っています。



南山城村教育委員会図書室

京都府下でただ一つの村の図書室です。平成四年三月に開室しています。

役場の集会会議室だった所を、図書室に利用しています。

南山城村は地域が広範囲なため、

利用者にとっては課題もたくさんあります。そのため各小学校や地域の婦人会館や公民館に貸出をして、

年一回交換移動図書として活用されるよう工夫しています。

図書室の活動としては、小学生や幼児向けに「お話し・読み聞かせ会」や「映画会・手作り玩具の会」を、第四土曜日に実施しています。

その他、「図書室まつり」や「クリスマス会」をして図書室の啓発に努めています。

今回、京都府図書館等連絡協議会に加入させていただき、より多くの住民の方々の利用を期待しています。



夜久野町教育文化会館図書室

JR下夜久野駅から徒歩約三分の所にある教育文化会館の一室に、念願の図書室が開室しました。

蔵書数は、府立図書館からの借り受けを含め現在約九千冊ですが、今後少しづつ増やしていきます。

さて、図書館活動ですが、毎月新刊を広報「やくの」でお知らせし、その中からお薦めの一冊を簡単なコメントと一緒に紹介しています。

十一月には子ども読書年にちなみ、記念イベントとしてリサイクルのための図書の交換会や人形劇サークルを招いての公演等を行いました。また、十月からは、ある身体障害者の方からの図書貸出の要請を受け、社会福祉協議会とタイアップして貸出業務を行うことになりました。

まだよちよち歩きの図書館ですが、ぜひ来年度には総合目録データベースのBタイプに参加して、図書の管理がスムーズにできるようになればと願っています。



南山城村教育委員会図書室

京都府下でただ一つの村の図書室です。平成四年三月に開室しています。

役場の集会会議室だった所を、図書室に利用しています。

南山城村は地域が広範囲なため、

利用者にとっては課題もたくさんあります。そのため各小学校や地域の婦人会館や公民館に貸出をして、

年一回交換移動図書として活用されるよう工夫しています。

図書室の活動としては、小学生や幼児向けに「お話し・読み聞かせ会」や「映画会・手作り玩具の会」を、第四土曜日に実施しています。

その他、「図書室まつり」や「クリスマス会」をして図書室の啓発に努めています。

今回、京都府図書館等連絡協議会に加入させていただき、より多くの住民の方々の利用を期待しています。



夜久野町教育文化会館図書室

JR下夜久野駅から徒歩約三分の所にある教育文化会館の一室に、念願の図書室が開室しました。

蔵書数は、府立図書館からの借り受けを含め現在約九千冊ですが、今後少しづつ増やしていきます。

さて、図書館活動ですが、毎月新刊を広報「やくの」でお知らせし、その中からお薦めの一冊を簡単なコメントと一緒に紹介しています。

十一月には子ども読書年にちなみ、記念イベントとしてリサイクルのための図書の交換会や人形劇サークルを招いての公演等を行いました。また、十月からは、ある身体障害者の方からの図書貸出の要請を受け、社会福祉協議会とタイアップして貸出業務を行うことになりました。

まだよちよち歩きの図書館ですが、ぜひ来年度には総合目録データベースのBタイプに参加して、図書の管理がスムーズにできるようになればと願っています。



南山城村教育委員会図書室

京都府下でただ一つの村の図書室です。平成四年三月に開室しています。

役場の集会会議室だった所を、図書室に利用しています。

南山城村は地域が広範囲なため、

利用者にとっては課題もたくさんあります。そのため各小学校や地域の婦人会館や公民館に貸出をして、

年一回交換移動図書として活用されるよう工夫

専門委員会ニュース

ネットワーク特別委員会

平成十二年九月七日ネットワーク特別委員会を開催、総合目録ネットワーク運営の考え方について府立から提案があり、協議しました。

その主な内容としての「具体的な方法」についての案は、「具体的な方法」についての案は、

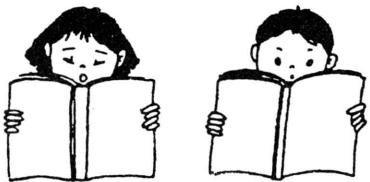
(1) 「京都府図書館総合目録ネットワーク会議」を府立と京図連協との共催で開催する。

(2) 出た意見については、府立も参考にするとともに、ネットワーク会が総合的に整理し、京図連協理事の運用に関して参加館が共通に遵守すべき事項については相互協力委員会で機関決定する。

(3) 参加資格・手続等のシステム運営上の基本的な決め事は、ネットワーク準備会で検討、特別委員会の了承を得、府立館長決裁によりこれを内規とする。

等で、今後ネットワーク準備会は「ネットワーク会議」の開催でその役割を終える事になると報告されました。

ネットワーク特別委員会としては、今後更に総合目録ネットワークが、より良い方法で運営されるよう、調整、努力していきたいと思います。



研修研究委員会

今年度の研修は、九月二十一日、二十二日に舞鶴市で「私の出会い」をテーマの講演と「絵本から広がる手作りおもちゃ」の実技講習を宿泊研修として開催し、十一月二日には京都市で

「京都ライトハウス点字図書館における視覚障害者サービス」をテーマに実務研修会(中部会場)を開催しました。

昨年は「子ども読書年」として各図書館でもいろいろの行事を行われたことだと思います。

実務研修会(南部会場)につきましては、各館にご案内しております実施要綱のとおり行います。多数ご参加下さいますことを期待しています。

トワークについて府立図書館の小山館長、川上主幹から説明と提示がありました。内容は、京都府図書館総合目録ネットワークの運営とネットワーク関係の組織・規程についての説明です。質疑応答の後、①「京都府図書館総合目録ネットワーク会議」の設定とこれへの相互協力委員の参加、②「資料の相互貸借実施要領」等規程類の見直しの方向性について確認しました。WANTEDについてでは、「京都府図書館総合目録ネットワーク会議や相互協力委員会での論議を踏まえて、運用について検討したい。」と小山館長から発言がありました。

「歴史は繰り返す」蓋し名言では……。

二十一世紀が図書館にとって希望に満ちた世紀となるよう各々が努力したいものです。

相互協力委員会

広報委員会

十月十三日(金)に第一回相互協力委員会を開きました。まず、自己紹介の後、相互協力活動の現状についての意見交換をしました。WANTED掲載資料の制限等について質問や意見が出されました。WANTED本でも品切れが多い、来年五月(予定)の府立の新館開館などの状況を考え、WANTEDのやり方の変更はしない」とまとめられました。

次に府立図書館の新館への移転に伴う連絡協力車・WANTEDの一時休止について、府立から説明とお願いがありました。また、京都府図書館総合目録ネットワークについて府立図書館の小山館長、川上主幹から説明と提示がありました。内容は、京都府図書館総合目録ネットワークの運営とネットワーク関係の組織・規程についての説明です。質疑応答の後、①「京都府図書館総合目録ネットワーク会議」の設定とこれへの相互協力委員の参加、②「資料の相互貸借実施要領」等規程類の見直しの方向性について確認しました。WANTEDについては、「京都府図書館総合目録ネットワーク会議や相互協力委員会での論議を踏まえて、運用について検討したい。」と小山館長から発言がありました。

次号は今年度最終号。四ページ建てで、三月十五日に発行予定です。
二十一世紀 新年おめでとうございます。
二十一世紀 新年おめでとうございます。

編集子

百年前、二十世紀を迎えた千九百一年一月一日の大阪朝日新聞のトップ記事は社説風の論説記事「新年を迎ふ」で明治三十四年と二十世紀の第一年を迎えることを賀し。その後、内外情勢に触れ、内政では政治腐敗と教育問題が新世纪を迎えるにあたって引き続き課題とし、そして新世纪に希望を求めるることは相当の覚悟がいるとしています。